

発表資料まとめ方のコツ

<注意>

- ◎発表向け準備資料です
- ◎発表では、スポーツデータ資料活用を

<発表ポイント>

- ◎知らない人に分かってもらうこと
- ◎発表の上手下手より、学んだことを伝える
- ◎真実を伝え、最新データを探すこと

ステップ① スライドの使用枚数

「スライド1枚を、1分で説明する」を目安に
全体の枚数を決めて下さい

- * 15分発表なら、15±3枚がベスト
- * 必要以上に長いと、聞く側はウンザリします

ステップ② スライドの下書き準備

- ① A4サイズのメモ用紙を4等分し、必要枚数準備する
* 大きいサイズだと、余分なことを、沢山書き過ぎます

- ② 基本骨子を整理するため
スライド1枚毎にタイトル・結論を書く
- ③ 必要枚数準備したら、全部を横に並べ
全体の流れを確認する
- ④ 骨子が固まったら、スライド1枚ごとに
タイトル～結論の間を
グラフ・図表・コメントなどでつなぐ
- * スライド中の文字サイズも考慮
* 発表を補うための文章は禁物
箇条書きで、簡潔明瞭に

②例:現状調査結果

〇〇が問題と判明

④例:現状調査結果

グラフ・図表など

〇〇が問題と判明

ステップ③ 発表テーマを決める

発表テーマは、次のようにした方が
取り組み動機や活動内容も表現でき分かりやすい

<メインテーマ>

クラブの夢・希望・期待を

<サブテーマ>

具体的改善内容を簡潔明瞭に

テーマの具体例

<メインテーマ>

大学生活を最高のものにするために！

<サブテーマ>

目標と夢を持った活動対策

ステップ④ クラブの紹介

新入生に**理解していただく**ため
まず、自分達を売り込もう！

<記載内容例>

- ①大学クラブの現状の紹介
- ②これまでの実績の紹介
今年の目標、クラブで大切にしているモットー
メンバーの紹介
- ③年間活動計画と実績
今回のテーマとのつながり

* 発表の場を考え、上記より取捨選択する

ステップ⑤ テーマ選定理由

今後発表するときは取り組みの**動機が最重要**
クラブやメンバーの立場から、自分の興味など
何故このテーマに取り組んだのか、動機を明確に

- * 教員の指示とかはベストでない
- * 抽象的言葉でなく、**事実を具体的に**述べる

ステップ⑥ 目標設定

目標設定はどのステップでやるのか？

<ケース1>

メインテーマに対する目標は
取り組み動機を優先するため、**現状調査の前**
に設定する

<ケース2>

サブテーマに対する目標は
現状調査で**ターゲットが明確になった後**
で設定する

* 必ずしも、2種類設定する必要はないが
明確に使い分ける必要がある

ステップ⑦ 現状調査

現状調査のステップは
結果系(悪さ加減・成功事例)のデータを
いろいろ層別・解析して
問題点を具体化させるステップです

* **原因を探すステップではありません***

* 分かりにくい事例の代表格は
現状調査と要因解析**ステップ**の混同です

ステップ⑧ 要因解析

要因解析は、次の3ステップで

＜ステップ1＞

特性要因図などで要因を洗い出す

＜ステップ2＞

洗い出した要因の中から主要因を絞り込む

＜ステップ3＞

真の要因(原因)かデータで検証する

* 検証しないまま対策し、失敗する事例が数多く見られます。特に注意を！

ステップ⑨ 効果確認と評価

効果確認＝対策項目ごとに、効果を確認する

評価＝目標に対してどうなったのかを評価する

* まとめてドンブリ評価だけでは、後で再発したら、手が打てなくなるので避けること

ステップ⑩ 標準化

標準化には2ステップある

◎標準化 みんなで、守るべきことを決め

◎日常管理 決めたことを、みんなで守る

* 日常管理の抜けている事例が多い

* 5W1Hで整理すると分かりやすい

<参考> 現状調査～効果確認をまとめて整理

対策が複数ある場合は、下記のように一表に整理すると分かりやすくなります。参考にしてください。

No.	問題点	原因	対策	効果
1				
2				
3				
4				

この場合、問題点・原因・対策・効果に同じ記号や符号を付け
関連付けが分かるように工夫して下さい
または、詳細別紙でも良いかと思えます

ステップ⑪ まとめと今後の進め方

これが不可欠<発表の決め手>

最初の取り組み動機や与えられたテーマが
どのように解決・達成できたのか

ステップ⑫ 最後のチェックポイント

発表とは、知らない人に**分かってもらう**のが目的です
何も知らない仲間に聞いてもらい、**意見を取り込もう!**